

平成29年度 県立西崎特別支援学校 学校評価 自己評価（全職員用）

【評価値】 1「達成できていない」、2「あまり達成できていない」、3「ほぼ達成できた」、4「達成できた」の該当する評価値に○印を付ける。

回答総数(人数) 110名

	具体的目標	具体的方策	集計数	集計数									
				1	2	3	4	無					
1 教育目標	① 健康で明るい生活をするために、必要な体力と安全な生活態度を育てる。	1 一人一人の幼児児童生徒の実態に即した具体的な個別目標が設定されている。		0	0%	0	0%	63	57%	47	43%	0	0%
	② 身辺の処理などの望ましい生活習慣の形成を図る。	2 指導に関わる全教職員で幼児児童生徒の個別目標について共通理解が図られている。		1	1%	10	9%	68	62%	31	28%	0	0%
	③ みんなと仲良く協力し合っ て、集団生活ができるよう な能力や態度を育てる。	3 個別の指導計画を活用し、幼 児児童生徒の障害の状態とそ の特性に応じた適切な指導が 行なわれている。		0	0%	5	5%	71	65%	34	31%	0	0%
	④ 働くことに喜びを見いだ し、ねばり強くやりとげる 意 欲を育てる。	4 個別の教育支援計画、個別指 導計画などを通して学年間・学 部間の連携が図られている。		0	0%	15	14%	72	65%	23	21%	0	0%
2 教育計画	① 年間指導計画の作成 ② 教育課程の完全実施	5 具体的な内容が年間を通して 配列されている。		0	0%	7	6%	57	52%	46	42%	0	0%
		6 学校行事等と関連した計画が 考慮されている。		0	0%	5	5%	56	51%	49	45%	0	0%
		7 計画された通りに授業時数を 確保することができる。		1	1%	10	9%	61	55%	38	35%	0	0%
3 教科別の指導 領域別の指導	「生きる力」を重視し、基礎 的・基本的事項の徹底を図 る。	8 学習指導要領に示す各教科 等の内容を踏まえた指導がな されている。		0	0%	3	3%	72	65%	34	31%	1	1%
		9 幼児児童生徒の生活に必要な 資質・能力を育成する具体的 な指導内容となっている。		0	0%	1	1%	68	62%	41	37%	0	0%
		10 職員相互の共通理解の下、指 導の連携が図られている。		0	0%	7	6%	69	63%	33	30%	0	0%
		11 個別の目標に沿った適切な評 価がなされている。		0	0%	5	5%	70	64%	35	32%	0	0%
4 各教科等を合わせた 指導	[生きる力]を具体化し、実際 的、体験的な活動を通して幼 児児童生徒が主体的に学習 活動に取り組めるようにす る。	12 発達段階や経験などを踏ま え、生活に結び付いた内容を 中心に構成されている。		0	0%	4	4%	61	55%	44	40%	1	1%
		13 個々の実態に即した望ましい 生活習慣の形成を図り、繰り返 し、発展的・段階的な指導が行 なわれている。		0	0%	3	3%	66	60%	41	37%	0	0%

	具体的目標	具体的方策	集計数															
4	各教科等を合わせた指導	[生きる力]を具体化し、実際の、体験的な活動を通して幼児児童生徒が主体的に学習活動に取り組めるようにする。	14 職員相互の共通理解や指導体制の連携が図られている。		0	0%	7	6%	63	57%	39	35%	1	1%				
5	特別活動(行事・児童生徒会)	集団活動を通して、社会性を養い、望ましい人間関係を育てる。	15 行事の目標や指導内容を幼児児童生徒の実態に沿って設定がなされている。		0	0%	4	4%	66	60%	39	35%	1	1%				
			16 生活単元学習等との連携が図られている。		0	0%	7	6%	67	61%	36	33%	0	0%				
			17 職員相互の共通理解や指導体制の連携が図られている。		0	0%	8	7%	62	56%	40	36%	0	0%				
6	交流及び共同学習	継続的で多様な交流及び共同学習の推進に努める	18 交流及び共同学習において、幼児児童生徒の個々の目的を踏まえた交流が行われている。		0	0%	7	6%	65	59%	38	35%	0	0%				
7	生徒指導(生活指導)	幼児児童生徒の発達や特性に応じて基本的な生活習慣を身につけるとともに、好ましい人間関係を確立する。	19 幼児児童生徒の実態に合った目標や指導内容となっている。		0	0%	4	4%	73	66%	33	30%	0	0%				
			20 職員相互の共通理解の下、一人一人の指導が協同体制で行われている。		0	0%	9	8%	58	53%	43	39%	0	0%				
			21 家庭や施設との連携が図られている。		0	0%	6	5%	55	50%	48	44%	1	1%				
8	キャリア教育 進路指導	幼稚園から高等部まで一貫した進路指導に努め、適切な進路決定を行う。	22 幼児児童生徒一人一人が主体的に学ぶ意欲や態度の育成、学習できる場の工夫が行われている。		0	0%	1	1%	71	65%	37	34%	1	1%				
			23 学年、学部間、保護者、関係機関の連携に努めている。		0	0%	6	5%	56	51%	47	43%	0	0%				
			24 個別教育支援計画の目標を子ども、保護者と共有し合意形成の下活用している。		0	0%	1	1%	62	56%	53	48%	0	0%				
			25 校内実習、就業体験、進路講話、施設見学等の取り組みを通して、働く意欲・態度など養うための取り組みを適切に行っている。		1	1%	6	5%	53	48%	50	45%	0	0%				
			26 小・中・高の進学時において進路(進学)に関する情報提供に努め、適切な進路指導を行っている。		1	1%	8	7%	67	61%	33	30%	1	1%				
9	教育相談	教育支援体制を整え、校内及び地域・関係機関との連携の充実に努める	27 学校は、学年、学部間、保護者関係機関等との連携に努めている。		0	0%	5	5%	46	42%	59	54%	0	0%				

	具体的目標	具体的方策	集計数															
9 教育相談	教育支援体制を整え、校内及び地域・関係機関との連携の充実に努める	28 学校は、特別支援教育のセンター的機能の充実に努めている。		0	0%	2	2%	41	37%	66	60%	0	0%					
10 安全指導 (保健安全)	健康で明るい生活をするために、必要な体力と安全な生活態度を育てる。	29 幼児児童生徒一人一人の健康の保持増進や体力の向上を配慮した教育計画が作成されている。		0	0%	0	0%	58	53%	52	47%	0	0%					
		30 災害時(訓練時)に幼児児童生徒一人一人の実態に即した避難行動等の対応が行われている。		0	0%	7	6%	45	41%	58	53%	0	0%					
		31 通学等の安全確認と、学校内外の危険箇所を把握して、安全指導に努めている。		1	1%	11	10%	55	50%	43	39%	0	0%					
11 環境美化 (環境整備)	清掃活動や緑と季節の花のある環境を作ることにより、幼児児童生徒に心の安らぎを与え、豊かな人間性を育成する。	32 清掃活動を通して、校内の環境が整えられている。		0	0%	12	11%	52	47%	46	42%	0	0%					
		33 教育活動全般を通して、校内緑化に努めている。		0	0%	11	10%	54	49%	45	41%	0	0%					
12 校内研修	学校教育目標や学校課題にそった研究主題を推進する。	34 幼児児童生徒の実態把握に努め、目的や目標を明示し、学習活動の振り返りで達成感を実感できる時間や場の設定を行っている。		0	0%	3	3%	69	63%	38	35%	0	0%					
		35 様々な研修や授業検討会を通して主体的な授業づくりの工夫改善に努めている。		0	0%	1	1%	62	56%	47	43%	0	0%					
13 家庭、地域社会との連携	保護者や地域社会と連携し、創意的な学校経営に努める。	36 連絡帳や学級通信等で家庭との連携が図られている。		0	0%	0	0%	42	38%	67	61%	1	1%					
		37 地域社会との連携が図られている。		0	0%	17	15%	65	59%	27	25%	1	1%					
14 特色ある学校づくり	ICT活用の推進	38 幼児児童生徒の自立・社会参加に向けたICT活用が、積極的に取り組まれている。		20	18%	4	4%	25	23%	61	55%	0	0%					
	読書活動の推進	39 学級活動や各教科等で図書館利用や読書活動が積極的に取り入れられている。		1	1%	7	6%	54	49%	47	43%	1	1%					
16 学校運営・その他	① 文書・予算処理	40 文書・報告・研究会等の情報は、速やかに周知・伝達がなされている。		0	0%	10	9%	62	56%	38	35%	0	0%					
		41 提出文書などの作成・整理・保管等、事務と連携しながら適切に処理がなされている。		0	0%	4	4%	56	51%	49	45%	1	1%					

具体的目標		具体的方策		集計数									
① 文書・予算処理	42	予算の執行計画、手続きなど事務と連携し、適切に行われている。		1	1%	6	5%	57	52%	43	39%	3	3%
	43	教育活動を効果的に行うために、教材教具等を有効に活用し、整理・保管等が適切に行われている。		2	2%	13	12%	63	57%	32	29%	0	0%
	44	校舎内外の施設・設備の点検を定期的に行い、適切な安全管理がなされている。		0	0%	4	4%	62	56%	44	40%	0	0%
② 施設・設備・備品	45	事務と連携し、備品台帳の整備を行い、備品の登録廃棄等が適切に行われている。		0	0%	10	9%	57	52%	42	38%	1	1%
	46	メニューの工夫などに積極的に取り組み、栄養教諭、担任との連携が図られている。		0	0%	1	1%	32	29%	77	70%	0	0%
	47	給食に関する安心・安全の確保に努め、円滑な給食活動が進められている。		0	0%	0	0%	31	28%	79	72%	0	0%
③ 給食	48	児童生徒の送迎で、バス部・保護者・担任との連携が図られている。		0	0%	2	2%	42	38%	65	59%	1	1%
	49	安全確保に努め、児童生徒と運転手・介助員との関わりがよく図られている。		0	0%	0	0%	48	44%	59	54%	2	2%
	50	図書室は幼児児童生徒が利用しやすいように、本の紹介や書架の整理、掲示等が工夫されている。		0	0%	0	0%	27	25%	82	75%	1	1%
④ スクールバス	51	校内での安全運転が守られている。		0	0%	4	4%	45	41%	61	55%	0	0%
	52	来客者への接遇に配慮がなされている。		0	0%	5	5%	52	47%	52	47%	1	1%
	53												
⑤ その他													

その他、評価項目にない課題・改善・要望等

・高等部は就学奨費にてICT機器が5万までの補助があると思います。ぜひ来年はタブレット端末も購入できる条件等の整備をしてほしいと思います。”

・クラスで毎週金曜日は読書の日と決めてやっています。また、読書月間を通して読み聞かせなどもやりました。”

学校施設の老朽化で、生徒の活動に支障が出始めている。何かがおこる前に対応してほしいのに、県の予算が厳しいというばかり…。沖縄水産高校のグラウンドの整備等、県立高校の施設の強化はしているのに、とても理不尽に感じる。

→同じ県立ではあるが、予算の出所が違うようである。生徒数の違いも大きい。

・教材購入の予算も県に対しても、校長会から意見してほしい。何を購入するにも手順が複雑で大変。

→事務長と検討し、県への対応が必要なときは、意見します。

・自立活動や情報教育についても西特は遅れている。今の時代に対応できていない。

→今年度より新学習指導要領に向けて高等部で取り組んでいきます。教科学習(情報も含めて)や自立活動についても充実できるように教育課程を編成します。また、他校での先進的な取り組みを是非紹介してほしいと思います。

・正門前の横断歩道が片側消えかかっている。(完全に消して信号側からわたるようにするのか、引き直して運転者に見やすいようにした方がよいと思う)→係で対応します。

・職員員の男女の休憩室もほしい。→女子の休憩室が進路室に隣にあります。もう少し整備をして活用に繋げていきたいです。男子休憩室は用務員室の間の間をご利用ください。

・(32)清掃活動を通して、校内の環境が整えられている。

→毎週1時間の学部清掃の時間を設定し清掃活動を行っているが、就業体験や各行事の特別時間割などで清掃活動ができていないことがあるためこのような値になったと考えられる。校内の環境を整えるために、行事などが重なった場合などは日生などの時間に清掃活動を行うなどの対応をお願いしたい。